平成 28 年４月 11 日

各　　位

会　社　名　株式会社スマートバリュー
代 表 者 名　代表取締役社長　　渋　谷　　順
（コード番号：9417）
問い合わせ先　取締役経営管理管掌　田　中　　健　作
TEL. 06-6448-1711

当社のＭ２Ｍ／ＩｏＴサービス「ＣｉＥＳＭ ３Ｇ」が ＮＴＴコミュニケーションズのＩｏＴトライアルパックに採用されました

株式会社スマートバリュー（本社：大阪市西区、代表取締役社長：渋谷　順、以下、当社）のＭ２Ｍ／ＩｏＴサービス「ＣｉＥＭＳ ３Ｇ」（注１）が、ＮＴＴコミュニケーションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：庄司　哲也、以下、ＮＴＴコミュニケーションズ）が 2016 年４月 11 日より提供を開始する、ＩｏＴトライアルパックの「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ Ｖｅｈｉｃｌｅ」に採用されましたので、お知らせいたします。

ＩｏＴトライアルパック「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ Ｖｅｈｉｃｌｅ」は、ＮＴＴコミュニケーションズのネットワーク及びクラウド基盤上に、当社のＭ２Ｍ／ＩｏＴサービスの「ＣｉＥＭＳ ３Ｇ」を連携することで、営業車両の運行管理を手軽に実現することができます。（図１）

当社は、ＮＴＴコミュニケーションズとのアライアンスによって、今後のＭ２Ｍ／ＩｏＴ分野の事業展開を、国内のみならず、新興国など広く海外へと拡大してまいります。

１．「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ Ｖｅｈｉｃｌｅ」について

ＮＴＴコミュニケーションズは、昨年秋より、ＩｏＴトライアルパックとして工場設備向けの「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ Ｆａｃｔｏｒｙ」、製品接続向けの「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ Ｐｒｏｄｕｃｔ」と、手早くＩｏＴシステムを試すことができる、用途別のトライアルパッケージの提供を進められています。

一方、当社では、車両の運行管理及び、安全運転支援を目的に、商用車両を対象にしたＭ２Ｍ／ＩｏＴサービス「ＣｉＥＭＳ ３Ｇ」を開発、主に商用車両を多く保有する民間企業向けにサービスを提供しています。

通信モジュールやＧＰＳを内蔵した車載機を利用する「ＣｉＥＭＳ ３Ｇ」は、ワンタッチで、車両の情報をクラウド上に送信し、アプリケーションで閲覧できる手軽さから、発売以来、主として国内の、多くのお客様への導入が進んでいます。

昨今の、企業の安全運行に対する意識と運行管理の重要性の高まりを受け、今般、ＮＴＴコミュニケーションズでは、同社のネットワークやクラウドプラットフォームの技術と、当社のサービス構築・運用ノウハウを連携し、車両・運行管理向けのＩｏＴトライアルパック「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ Ｖｅｈｃｌｅ」として、まずは日本国内の事業者に向けて提供されることとなりました。

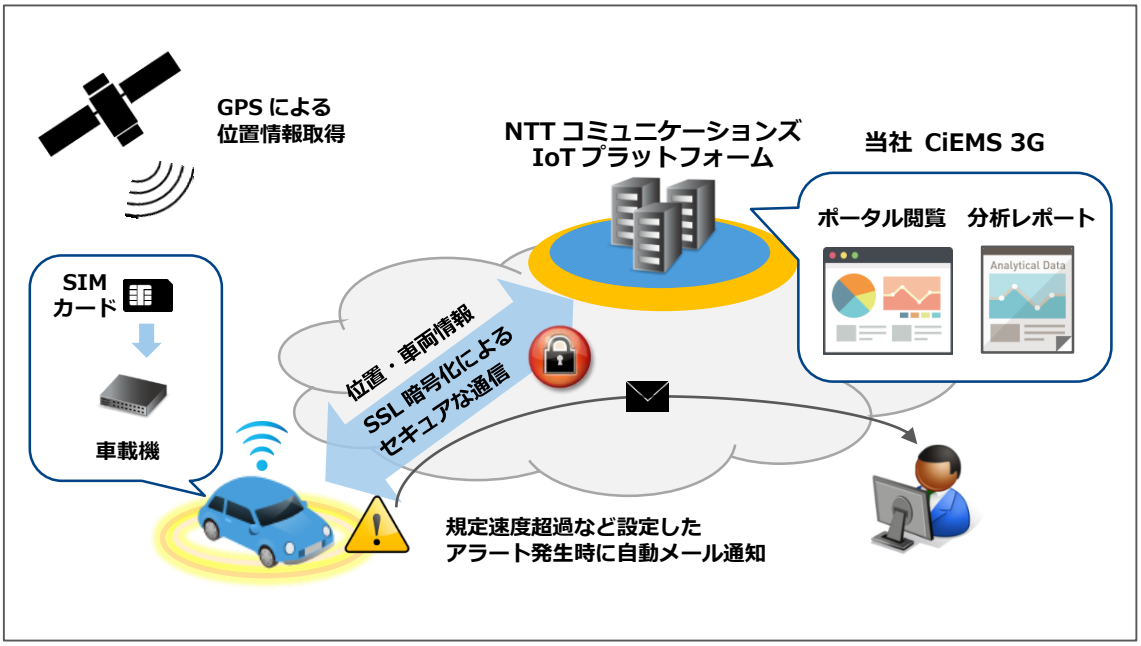
２．今後の取り組み

「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ Ｖｅｈｉｃｌｅ」は、グローバル展開に向けて、インドやタイをはじめとした海外での実証実験を推進していきます。

新興国においては、急速な自動車の普及に伴う、交通事故や交通渋滞の増加、大気汚染問題の深刻化などが、大きな社会問題として顕在化しています。

これらの社会課題の解決に、当社クラウドサービスが価値を提供できる可能性は非常に高く、当社では、今般の「Ｃｏｎｎｅｃｔｅｄ　Ｖｅｈｉｃｌｅ」における協業を機に、ＮＴＴコミュニケーションズとのＭ２Ｍ／ＩｏＴの分野におけるビジネスアライアンスをさらに強固なものとし、幅広く営業展開を進めるほか、これまで国内マーケットにとどまっていたサービス市場を、インドやタイなどの新興国をはじめ、広く海外へと拡大してまいります。

（図１）



（注１）
「ＣｉＥＭＳ　３Ｇ（シームス スリージー）」
車載機に内蔵された通信機能やＧＰＳで、車両の走行情報や燃費情報などをクラウド上で管理できるサービス。
※詳しくは下記ページをご覧ください。
https://www.ciems.jp/ciems_3g/index.php

以　上

【お問い合わせ先】経営管理 Division　戦略 IR グループ
TEL:　06-6448-1711